

## 平成 25 年度 第 2 回獣医学共用試験委員会 議事録

1 日 時 平成 25 年 8 月 24 日 (土) 午後 1 時から 4 時 40 分

2 場 所 東京大学農学部 農学部 3 号館 水産学科 会議室

### 3 委員

酪農学園大学：遠藤大二教授	北海道大学：稲葉睦教授
北里大学：高井伸二教授	東京大学：尾崎博教授
岐阜大学：北川均教授	岐阜大学：杉山誠教授
麻布大学：浅井史敏教授	鳥取大学 澁谷泉教授
日本獣医生命科学大 森田達志講師	日本獣医生命科学大 新井敏郎教授

### 4. 議題

#### 1) 獣医学共用試験委員会小委員会からの進捗状況の報告

- (1) 共用試験委員会：高井
  - 私大協・政岡会長からの依頼文書 (資料 1)
  - これまでの経費に関する試算案 (資料 2)
  - 追再試験の日程・場所などについて、詳細を検討することとした。
- (2) 大学代表者会議：尾崎先生・杉浦先生
  - 共用試験に関わる規則の制度化の検討 (薬学の共用試験 HP 参照：資料 3)
  - 獣医学共用試験機構の設置の検討
  - 一般社団法人 獣医系大学間共用試験実施評価機構 定款 (案) (資料 4)
- (3) vetCBT 小委員会：杉山先生 席上配付資料あり
  - 問題精選の作業進捗状況 4 科目を除いて精選が終わった。
  - 平成 25 年度の問題作成・精選の次のステップについて：予定表の説明があった。
  - 精選委員にアンケート調査を実施したところ、システム操作性にも高い評価を得て、負担についても強い不満もなく、適正問題処理数が 100 題くらいとの反響を得たとの報告。
- (5) vetOSCE 準備委員会：北川先生 (資料 5-1~3)
  - vetOSCE の準備状況
  - 詳細について資料で説明。開発費捻出のために、文科省への申請報告があった。
- (6) トライアル実施委員会：山下先生・高井
- (7) 広報委員会：澁谷先生 機構になった時点で HP の改訂。
- (8) CBT 実施ソフトの開発状況について：遠藤先生・森田先生 (資料 6)
  - 資料を用いて開発状況の説明があった。
  - 本年度のトライアルに間に合うように出題ソフトの開発を急いで頂くこととなった。
- (9) 話題提供
  - 医学部病院長会議 CBT 合格水準統一へ (資料 7)
  - 獣医学教育分科会の立ち上げについて (要望) (資料 8)
- (10) 講演依頼 (遠藤先生) の報告
  - ① 8 月 31 日 野生動物医学会 京都 共用試験のご紹介
  - ② 9 月 28 日 北海道大学同窓会 札幌 共用試験の取り組みに関するご紹介

#### 2) 審議事項 (全国協議会における検討課題について)

- 1) CBT の合格点数と、その取り決めについて
  - CBT については達成度基準点として 60 点とすることとした。
- 2) CBT と OSCE の実施時期について (資料 9)
  - 岩手大学の OSCE 実施時期が農工大と違う点について、質問があり、オリジナルファイルで確認することとした。
- 3) 平成 27 年度の予算：16 大学からの供出金について・・・以下の提案を全国協議会で行うこととした。

○平成 24-26 年度の科研費・基盤 A の後の 1 年間の予算に関する提案 (資料 10)

**提案：**全国協議会に、機構を立ち上げと同時に共用試験実施委員会を設置し、16 大学から平成 27 年度の運転資金を集めることを提案する。その際の各大学の供出金は、総在籍学生数を 6 で

割った、実質的な1クラス学生数に1万円を掛けた金額とする提案をする（新卒者数：1050万前後）。

背景：科研費で、本格実施の前年（平成27年度）のトライアル並びに共用試験準備に掛かる費用を申請し、確実に確保する保証は無い。受益者負担で準備したい。

薬学の例（共用試験の本格開始までの3年間）

システム開発費 75万円×大学数 + 9000円×学生定員数=1億5千万/年

4) 実施機構立ち上げは平成27年4月1日とする。

5) 実施機構の設立に関するロードマップ

6) トライアル参加校の検討（日獣大と麻布大） 具体案（日獣大）の提案

いずれも獣医学科5年次学生97名を対象に行う予定でいる。

◎ OSCE実施日： 平成26年2月15日：決定

◎ CBT実施可能日： 平成25年12月24日、26日

平成26年1月14日、20日

システム開発状況に合わせて、上記の何れかに決定する。

7) その他